

すなお

令和7年10月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮英治

発行日 2025.10.16 通巻 No.783



会長

「我は元の神、実の神である。このやしきにいんねんあり。このたび世界一れつをたすけるために天降った。みきを神のやしろに貰い受けたい。」

とは、親神天理王命が、教祖（おやさま）中山みきの口を通して仰せになった最初の言葉である。

家人（かじん）は、この思いがけぬ啓示（おつげ）にうち驚き、再三言葉を尽くして辞退したが、親神は厳として退かれぬにより、遂に、あらゆる人間思案を断ち、一家の都合を捨てて、仰せのままに順（したが）う旨を対（こた）えた。

時に、天保9年10月26日、天理教は、ここに始まる。

これは、天理教教典の冒頭に書かれている文章です。今月10月は天理教を信仰する私達にとって忘れてはならない大切な立教の月で今年は立教188年目になります。立教の時、教祖の夫である善兵衛さんは、よもや神様が下って来られるとは予想もしていなかったでしょうし、願ってもいなかったと思います。この事は私達自身にも共通していることだと思います。信仰しようとして信仰したのではなく、教祖に導かれたと考えるのが分かりやすい事だと思います。

私の家（木村家）の信仰の元一日は、嫁姑の争いであり、そこにお酒もからみ、夫婦の争いへとなっています。おたすけ人である植木ハツさんの真実なる丹精によって導かれ信仰をさせていただくようになりました。信仰の道に入るまでに5年の歳月を要したと聞いています。それほど信仰したくなかった祖母とそれ以上に信仰の道を伝えたかったハツさんとの綱引きの日々だったと想像します。

来年1月26日に執行される教祖140年祭へ一人の方でもお誘いして、自らもお帰りいただきたいと思います。自分自身がたすけていただいた御恩を深く心に感じれば、その御恩返しはおたすけしかありません。それが一番の御恩返しです。人の心を変えるには我が心の真実を尽くすしか方法はありません。上手な言葉で人の心が変わる訳ではありません。（この人は本当に私の事を思ってくれている。願ってくれている）ということが伝われば、それで良いのです。

「丹精する」という言葉があります。その意味を調べると《丹精とは、真心や誠意をもって物事に取り組む様子を表す言葉です。特に、物を大切に扱ったり、丁寧に仕上げたりする行為に使われることが多いです。愛情や注意を払って何かに取り組む姿勢を指し、物質的なものだけでなく、感情や思いも含まれます。》とありました。野菜や果物を育てるように人の心を育てていく、丹精させてもらうことが大切なことだと思います。どうか、誰かの事を思って通る日々であることを願います。それが必ず我が心の勇みにもなります。よろしくお願いします。



寸分の狂いなき理の中で

田中 道則

9月26日に男の子が産まれました。母子ともに元気で、日々喜びに溢れています。自分が胎内にいる赤ちゃんの手足や目をつくった訳ではありません。そんな事は人間の力では出来ません。父である自分はただただ元気で産まれてくれる事を祈り、それに相応しい理と徳を頂ける日々を通る、そのことだけを思案しつとめてきました。

命の誕生に向き合うとき、かしのかりものの理をはじめ、元の理、お道の教えに寸分の狂いがないことを改めて感じました。二児の父として子供の成長に負けられないよう日々道を求め成人していきたいです。

《教会ニュース》

140年祭団参申し込み

来年1月26日に執行される教祖140年祭へお帰り下さる予定の方は、今月23日までに会長へ帰参方法や日程を連絡下さい。記入用の用紙を用意しています。下記参照下さい。（今後の変更・追加も可能です。現時点での詰所宿泊・食事数確認のためです）

教祖140年祭団参予定表															代表者				
氏名	帰参方法				別席		1月25日			1月26日			27日	帰参予定			備考		
	自家用車	マイク ロ	船	その他	初席	中席	昼食	夕食	宿泊	朝食	弁当	おにぎり	夕食	宿泊	朝食	確定		未定	丹精中
1																			車輛等の乗り合わせ・現地集合等の記入
2																			
3																			

天龍講団参

今月26日の本部祭典終了後、11時30分より中和は北礼拝場東側に集合して天龍講独自の参拝が行われます。詰所からまとまっての出発はありませんので、それぞれが指定の場所に集合して下さい。その後、東講堂や詰所大広間において記念講演があります。

*前日宿泊の方へは25日夜19時より記念講演を大広間にて聴くことができます。



編集後記

思い通りにいかないとき、ふと気づくことがあります。それは、自分が相手に期待しすぎたのかもしれないということ。けれど、相手には相手の考えがあり、こちらの思い通りに動くわけではありません。そんなとき、「相手は自分を映す鏡」という言葉を思い出します。相手の言動を通して、自分の在り方を見つめ直す今日この頃です。（編集者K）